

講演 5

「中国におけるコロナ禍による食料の生産・流通・消費の影響と対応」

中国人民大学 農業・農村発展学院

教授 王 志 剛 氏

ただ今、ご紹介いただいた中国人民大学の王と申します。今日、私が報告するテーマは、「中国におけるコロナ禍による食料の生産・流通・消費の影響と対応」です。以下のように報告させていただきます。

初めに、皆さんご存じように、今年2月に中国で、新型コロナウイルスが発生し、非常に大きな打撃を受けております。また、世界中にも流行しているところです。世界各国の政府は、積極的に政策を打ち出し、できるだけウイルスの拡大を抑制するため、今、努力しているところです。

2の図ですけれども、中国経済に対する影響です。予測では、最低第1、第2四半期になるとマイナスになるだろうとされていました。実際は、第1四半期はマイナス6.8%、第2四半期はプラス3.2%になっている。そして、第3、第4四半期には相当プラスになるだろうと予測されております。

各産業に対しての影響ですが、ご覧いただきますように、第1四半期はすべてマイナスになっていますけれども、第2、3、4四半期になると、プラスになっております。

図3は、労働者の雇用状態の予測です。全体的にマイナス二十数パーセントになるだろうと予測されております。

農業とフードシステムについても、全体的に第1四半期は非常にマイナスになっていますが、第2、第3、第4四半期になるとプラスになるだろうと予測されております。また、各産業、農業の雇用の状況を見ても、だんだん回復

してくれるかなと思っております。次は農産物流通システムへの影響です。今回のコロナ禍によって、大きな打撃を受けているのですが、それにより、知能化と無人物流技術や、生中継の発展によって、デジタル農産物の販売が非常に盛んになってきております。特にインターネットプラス農産物の販売は、非常に拡大しているところです。そのほか冷凍チェーンや各産業の労働企業の統廃合が非常に拡大しているところです。また、ブランド化についても非常に積極的にやっています。高級消費市場を占めるようになってきています。4番目は、食品消費への影響です。全体的に言うと、物価は少しずつ上昇してきており、CPI（消費者物価指数）は数パーセントくらい上昇しているところです。また、消費者に配布したアンケートでは、生活物資が「やや不足している」「不足している」と、皆さん非常に恐怖心を持っていると答えてくれました。

また、防疫資材や市場価格の上昇なども、2、3割くらいの消費者は、10%以上の上昇を見ているところです。次に、中国の対応です。まず生産について、非常にいろいろな資金を出し、豊富な品種を保つこと、技術サービスの強化、適時に収穫すること、品質管理を強化すること、監視警報を強化することなどの措置をとっています。特に農民工の秩序ある復帰、回復、労働の再開を誘導すること、金融支援の強化、物流輸送ルートをスムーズに流通させるために整備すること、企業の生産再開を統一的に推進することなどの措置がとられております。

中国の流通の場面ではどのような対応をしているのか。できるだけ情報の流通を強化すること。流通ルートを通ずるにすること。from Field to Table (畑から食卓へ)、できるだけ野菜配送の新しいルートを構築すること、統一品種、統一価格、集中的な配置、販売をすることをやっているところです。

また、注目されているのは電子商取引で、以前より非常に拡大しているところです。特に無人、無接触配送システムを進展させることなどを、AI技術を導入しながらやっているところです。また、緑色消費(グリーン消費)、環境保全型の消費をできるだけ促進することをやっているところです。

このスライドでは、中国の対応の効果を見えます。全体的に、特に農産物の価格が安定的

に改善してきています。下半期のCPI上昇率は明らかに低下し、物価全体、合理的な区間に入って運行していることが挙げられます。

最後に、むすびです。今後の対策として、農村部の冷庫建設を重視し、全体的にサプライチェーンに沿った物流施設を整備すること。あとは都市部の農産物のプラットフォームの建設や、農産物の供給チェーンのアップグレードを重視すること。環境保全型の消費を提唱し、正しい消費観念を確立させること。農産物の電子商取引体制の改革を加速させること。各種の応急対策案を完備することなどが挙げられています。

以上で私の報告といたします。本当にありがとうございました。

(終了)

日本中村学園大学国際セミナーPPT

2020年9月11日福岡

中国におけるコロナ禍による食料の生産・流通・消費の影響と対応

- 1、はじめに
- 2、マクロ経済的影響
- 3、農産物流通システムへの影響
- 4、食品消費への影響
- 5、中国の対応：生産と流通
- 6、むすび：今後の対策



王志剛教授 食品経済管理専攻
中国人民大学農業と農村発展学院



1、はじめに

- ・ COVID-19の大流行は世界的に蔓延し続けているが、広範な経済活動の制限による経済的損害も世界的に蔓延している。
- ・ 2020年3月以来、世界各地の多くの国は厳格な緩和政策を実施し、感染を減少し、ウィルスの伝播を抑制する。



2、マクロ経済的影響

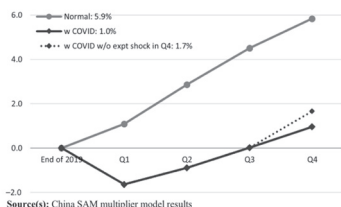
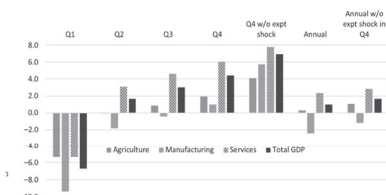


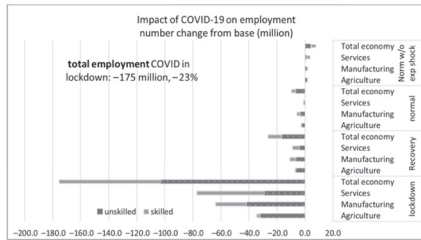
Figure 1. Cumulative changes in 2020 GDP with and without COVID from 2019 GDP (in trillion RMB, 2019 prices), Zhang, et al. (2020)



Source(s): China SAM multiplier model results

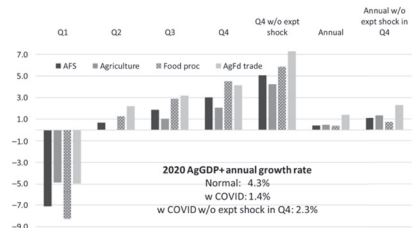
Figure 2. Impact of COVID-19 on China's economy (percentage change from 2019), Zhang, et al. (2020)





Source(s): China SAM multiplier model results

Figure 3. Impact of COVID on total employment (number change from base, million), Zhang,et al.(2020)



Source(s): China SAM multiplier model results

Figure 4. Impact of COVID-19 on China's AFS value added (Percentage change from 2019, Zhang,et al.(2020))

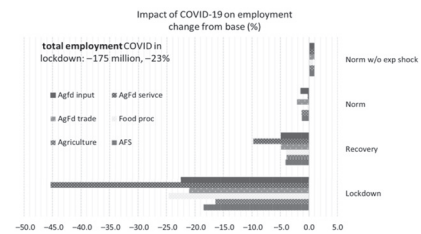


Figure 5. Impact of COVID-19 on China's AFS employment number (change from base, million), Zhang,et al.(2020)

3、農産物流通システムへの影響

- ・ 知能化が勃興し、無人物流が新常态となった
- ・ 生中継の発展に伴い、デジタル農産物はすでに主要な販売力になっている
- ・ インターネット+農産物一括市場販売の新しい形、新しいモデルの開発

- ・ 冷凍チェーンの物流発展を加速し、農産物冷凍冷蔵施設の建設を重視する
- ・ 農産物加工のトップ企業は産業統合合併し、大規模化発展を実現する
- ・ 農産物ブランドの発展を先取りし、高級消費市場を占領する



4、食品消費への影響

- ・ 第一、食品価格の上昇が顕著であること。回答者の半数以上が野菜(81.83%)、肉、卵(61.2%)、果物(57.67%)の価格が著しく上昇したと答えた
- ・ 第二に、生活物資の不足が重視される。それぞれ40.13%、11.53%の回答者は、生活物資が「やや不足している」と「不足している」と答えた



- ・第三に、防疫物資の購入に不便があること。44.90%に達した回答者は衛生防疫物資の購入が非常に困難で「やや困難」「比較的困難」を選んだ回答者がそれぞれ30.41%、18.59%を占め、6.10%だけが「全く困難ではない」と回答した
- ・第四に、住民は食品価格が引き続き上昇すると予想している。回答者の34.13%は食品価格が5%未満の上昇を、41.85%は5-10%の上昇を、24.02%は10%以上の上昇を見ている。



5-1、中国の対応：生産

- ・豊富な品種を保つ：市場ニーズに応じて適切に製品生産を増やす
- ・技術サービスの強化
- ・適時に収穫する
- ・品質管理を強化する
- ・監視警報を強化する：主要野菜製品の需給情報を適時に発表し、野菜農家、経営者に生産の合理的な手配を誘導する



Spot Show: 竜頭企業に対する措置

- ・農民工の秩序ある復帰を誘導する
- ・金融支援の強化
- ・物流輸送ルートをスムーズに
- ・企業の生産再開を統一的に推進する



5-2、中国の対応：流通



- ・情報の疎通を強化する：野菜生産の大県と規模化生産主体を積極的に組織し、主体的に武漢、北京、上海などの重点都市野菜のマーケティング主体とドッキングし、密接な連絡メカニズムを確立し、担当者を指名し、野菜の生産と販売の情報を適時に疎通し、需給関係を調整する
- ・輸送ルートをスムーズにする：野菜の急速な秩序のある流通を促進し、都市部の店に入られることを確保する
- ・「基地直送—郵便配達—市民の食卓」の野菜配送の新しいルートを構築する
- ・統一品種、統一価格、集中的な配置・販売する



Spot Show: 電子商取引拡大

- ・農産物の供給チェーンのインターネット化、デジタル化、知恵化の情報プラットフォームを完備し、知恵倉庫の開発と応用
- ・無人または無接触(ロボット)配達システムを発展させる
- ・都市部の知恵物流と供給チェーン体系を構築する
- ・消費者を中心としたエコ協同農産物供給チェーンモデルを構築し、農産物供給チェーン端末の建設を加速した



対応効果

- ・国内の疫病状況の総体的な安定に伴い、生産、運送、販売などの環節は更に順調に進み、
- ・農産副食品市場の有効な供給は明らかに増加し、
- ・食品の価格は安定に転じ、下半期のCPI(消費者物価指数)上昇率は明らかに減少し、物価全体の水準は合理的な区間で運行する。



6、むすび：今後の対策

- ・農村部の冷库建設を重視し、現代物流技術の応用を強化しなければならない
- ・都市部の農業プラットフォームの建設を加速する
- ・農産物の供給チェーンのアップグレードを重視する
- ・緑色消費を提唱し、正しい消費観念を確立する
- ・農産物の電子商取引体制の改革を加速する
- ・各種応急対策案を完備する



ご清聴、有難うございました

